

ケア現場の当事者と専門家の共創を可能にするメタバースプラットフォームの実現

研究開発代表者： 中谷桃子 東京工業大学・工学院 准教授

共同研究機関： 株式会社ソニーコンピュータサイエンス研究所、明治大学



目的： ケア現場を再現したメタバース（3次元共有仮想空間）上で多様な専門家による共創を実現し、ケア現場の変革を実現することを目指す。

研究概要： 保育や介護などの人が関わるケアの現場は、個人情報が多くセンシティブな環境であるため、第三者が自由に出入りすることは難しい。一方、現場の課題解決を行うためには、現場の状況・環境をしっかりと観察し深く理解することが必要である。

そこで本研究では、**ケア現場の状況・環境を再現したメタバースを構築し**、メタバース上で現場の課題発見・解決策創出を行う方法論を確立する。保育士・デザイナー・技術者がヘッドマウントディスプレイを被り、メタバース内で共に課題解決できるようにする。また、多様な立場の参加者が共創に参加しやすくなるよう、メタバースと現実の行き来を容易にする技術の開発を行う。

本研究で取り組む開発項目は以下3点である。

- ①ケア現場の環境・状況を効果的にメタバース上で再現・提示する手法を確立すること
- ②同メタバース内での共創方法を確立すること
- ③メタバースと実空間の行き来を容易にする共創環境を実現すること



目指す将来像（5年後を目安とする）：

家庭や専門の施設内の限られた人のみで行われていた「ケア」に関わる知識・知見を社会全体に共有し、**ケアを社会全体で担えるようにすること**を目指す。そのために、現場のデータを収集蓄積し、同データの解析や多様な専門家との共創を通じ、ケアを行うための専門知を抽出する。それらの知を活用しケアの体験やスキル向上ができ、関係者との交流・共創が可能なプラットフォームを構築し社会実装する。

期待する共同研究・事業連携先：

保育・教育関連のICTサービスを提供する企業、メタバースプラットフォーム事業者、ARVR コンテンツ／センシングデバイス開発事業者

連絡先： nakatani.m.ad@m.titech.ac.jp